

「市立保育所の在り方及び市保育士の人材育成に係る方針」に基づく
平成29年度の取組内容及び平成30年度の事業計画

報告事項 ウ

項目	目的	平成29年度 取組内容	平成30年度 事業計画 (●は新規・拡充)
(1)市保育士の質の向上	保育実践の改善 保育所の保育内容等の改善	【自己評価の見直し】 保育指針の改定内容を踏まえ、保育士及び保育所の自己評価の見直しを実施。これを踏まえ、H30年度の全体的な計画及びカリキュラム等を作成した。	●新自己評価の実践、公表(7月に公表予定) ●第三者評価の受審:神楽保育所
	関係部局の業務の理解促進・連携強化 専門性の向上	【部内勉強会、研修会等の実施】 ・市保育士合同での勉強会を実施(1月25日) ～ペアレントトレーニング研修受講者による報告、知識の共有等 ・愛育センター課内研修(4～8月) ・こども通園センター職員研修(6月、11月) ・みどり・わかさ学園職員交流研修(6～1月) ・愛育センター、子ども総合相談センター等における現場見学実習の実施(10～12月) ひまわり14人・親子教室17人	【部内勉強会、研修会等の実施】 職責や業務課題に応じた市保育士合同の研修や勉強会の実施 現場見学実習等の職員交流研修 ・愛育センター課内研修(4～11月) ・愛育センター職員交流研修(6月～1月)
	特定教育・保育施設等の実態把握 子ども・子育て支援新制度の理解	【事故防止マニュアルの見直し、整備】 ・保育指針の改定内容を踏まえ、市立保育所の事故防止マニュアルを見直し整備。 ・見直し後のマニュアルの内容についての理解を深め、実効性を高めるため、所内勉強会を開催(12月)	●指導監査時等に事故防止マニュアル等の見直しの手法やポイントを民間保育施設等に提案 ・事故防止マニュアルの内容確認等に係る所内勉強会の開催
	認可外保育施設の実態把握 認可外保育施設への支援体制構築	【認可外保育施設の立入調査実施】 こども育成課及び市立保育所の保育士2名で、立入調査を実施(担当7名) ・実施期間 11月20日～1月末 ・対象施設 33施設	【認可外保育施設の立入調査実施】 こども育成課及び市立保育所の保育士2名で、立入調査を実施 ・実施期間 11月～1月末 ・対象施設 34施設
(2)全市的な支援体制の構築	市内保育所・こども園に対する情報の発信・共有、保育内容の向上	【公開保育の実施】 市内全保育施設を対象に、近文保育所における保育の公開及び参加者との意見交換等を実施。 ・12月5日(火) 9:30～11:50 ・テーマ「人との関わりから育つもの」 ・参加者 市内民間保育施設関係者等31名	【公開保育の実施】 市内全保育施設を対象に、神楽保育所における保育の公開及び参加者との意見交換等を実施。 ・9月13日(木) ・テーマ「主体的に体を動かして遊ぶ子ども～保育士ができること」
		【研修報告会の実施】 市内全保育施設を対象に、市立保育所における取組内容の報告、参加者との意見交換等を実施。 ・2月15日(木) (1)教育大との連携による運動遊びについて (2)神楽保育所 「配慮を要する児に応じた援助の在り方を考える ～I型糖尿病を抱えるダウン症児への支援と体調管理について」 (3)新旭川保育所 「たてわり・小集団保育②」	【研修会の実施】 日時:2月15日(金) 対象:市内保育施設・関連機関等 内容:テーマに沿った事例を発表後、小グループでの意見交換と全体でのまとめを行う。 事例1 新旭川保育所 事例2 近文保育所
		【民間保育施設等との交流】 ・旭川大学附属幼稚園の公開保育(10月)を見学(市保育士11名参加) ・旭川のひろ保育園(神楽)、新富保育園、保育園げんき!(新旭川)、近文生活館保育所(近文)との交流保育事業を実施。	【民間保育施設等との交流】 ・旭川のひろ保育園(神楽)、新富保育園、保育園げんき!(新旭川)、みずほ通り保育園(近文)などとの交流保育事業を実施。
	高等教育機関等との連携による保育内容の充実等	【市内の大学との連携】 高等教育機関等と連携し、専門家の意見を反映した取組を実践。 ・運動遊び、体力測定等への実践協力、検証(教育大・板谷准教授) ・公開保育、研修報告会等に関する相談・助言(旭川短大・佐藤教授/教育大・芝木教授) ・マニュアル整備、事例集まとめ、計画見直し等に関する相談・助言(教育大・萩原教授) ・個別の子ども・保護者への対応に対する相談・助言 等	【市内の大学との連携】 旭川短大、教育大 高等教育機関等と連携し、専門家の意見を反映した取組を実践。 ・運動遊び、体力測定等への実践協力、検証 ・公開保育、研修会等に関する相談・助言 ・マニュアル整備、事例集まとめ、計画見直し等に関する相談・助言 ・個別の子ども・保護者への対応に対する相談・助言 等
	市内未就園児に対する子育て支援	【園開放の実施】 園開放日を隔週から毎週に拡大。子ども総合相談センターやみどり学園との連携を図りながら、支援が必要な子どもを含め、集団生活経験の機会を提供。(H29実績3保育所計/275名)	・取組継続
	相談支援体制の充実	【子ども総合相談センターと保育・療育現場の連携強化】 ペアレントトレーニングにかかる研修を受講 ・8月18～20日/子ども総合相談センター保育士1名 ・11月17～19日/市立保育所保育士3名 ・市民向けペアレントトレーニング講座(2月16日・子ども総合相談センター主催)において、上記研修受講者が補助者(サポート)として参加。	●子ども総合相談センターとの連携による子育て支援の在り方を検討 ●要支援児の加配認定方法等について検討する。 ●市民向けペアレントトレーニング講座、関係者向けペアレントトレーニング研修(子ども総合相談センター主催)において、補助者(サポート)として参加。 市民向け講座(3回講座×2回) ①6/7, 6/21, 7/5 ②9/13, 9/27, 10/11 市民向け紹介講座(2回) ①8/27 ②2/12 関係者(保育施設、小学校、障害児通所支援事業所)向け研修 ①7/18 ②8/8
(3)行政資源の効果的な活用	特別支援保育ニーズへの対応	【特別支援事例集の作成】 高等教育機関からのアドバイスを受けながら、具体的な困り感等をインデックスに市立保育所での取組事例をまとめる。 【特別支援にかかる学習会開催】 特別支援にかかる就学への理解を深めるため、保育士を対象とした学習会を開催。 ・9月11日(月)18:00～ ・参加者 認可保育所及び認定こども園の保育士等60名 ・講師 旭川市教育委員会教育指導課 白石氏	●事例集の公表 ●民間保育施設等からの問い合わせへの対応 【特別支援にかかる学習会開催】 特別支援にかかる就学への理解を深めるため、保育士を対象とした学習会を開催。 ・8月22日(水)18:00予定 ・参加者 認可保育所及び認定こども園の保育士等 ・講師 旭川市教育委員会教育指導課 白石氏 旭川市教育委員会学務課 及川氏
	医療的ケア児童ニーズへの対応	【医療的ケア児童の受け入れ】 ・H30年度から入所希望の医療的ケア児(胃ろう)について、園開放での受け入れを行い、入所する場合に必要な体制等を確認。 ・受け入れに向けた勉強会を実施予定	●入所受け入れに必要な人員の配置→看護師配置 ●所内研修としての勉強会の実施 ・医療的ケア支援事業の研修を4月11日・27日2回同じ内容で全保育士が受講(臨時職員・パート保育士含む) ●受け入れマニュアル等の作成と実施及び記録振り返り・他機関との連携
	市内の保育施設等の給食の充実	【食育計画の見直し】 第三次旭川市食育計画及び保育指針の改訂に伴い、食育計画の見直しを実施。	●見直した食育計画に基づく保育の実施。
	保育士不足解消・新たな保育の担い手の発掘	【保育士再就職支援研修の実施】 3保育所における現場実習、座学講師の対応 ・第1期(7月24日座学/25～26日実習) 4名 ・第2期(1月17日座学/20～21日実習) 4名 【子育て支援員研修への対応】 3保育所における現場実習の対応 ・第1期(①6月29～30日/②7月3～4日) 42名 ・第2期(①1月23・24日/②1月30・31日) 23名	【保育士再就職支援研修の実施】 予定 3保育所における現場実習、座学講師の対応 ・第1期(7月23日座学/24～25日実習) ・第2期(11月19日座学/20～21日実習) ・第3期(2月18日座学/19～20日実習) 【子育て支援員研修への対応】 3保育所における現場実習の対応 ・第1期(①6月28～29日/②7月5～6日) 予定 ・第2期(1月中旬～2月中旬) 予定
市立保育所の現状把握	【施設評価等の実施】 旭川市公共施設等総合管理計画に基づく施設評価を実施	●次期旭川市子ども・子育てプラン(H32～)策定に向け、新旭川保育所、近文保育所の今後の方向性を整理	